

平成 25 年 7 月 25 日

**農林中央金庫**

## 森林組合トップセミナー(兼 第 7 回森林再生基金助成事業発表会)の開催について

標記セミナーを開催いたしますので、以下のとおりご案内いたします。

### 1 概 要

- (1) 森林組合トップセミナーは、全国森林組合連合会との共催で、今回で 6 回目の開催となります。森林組合系統の一層盤石な経営体制の構築に向けた意見交換を行うことを目的に、森林組合および都道府県森林組合連合会等の経営層が参集いたします。
- (2) 「農林中金 80 周年森林再生基金」(通称 FRONT80)は、当金庫の創立 80 周年を契機に組成した公益信託です。当金庫は、国内の荒廃した民有林の再生に資する非営利団体の事業・活動に対する支援を通じ、社会貢献に取り組んでおります。  
今回は、第 7 回の助成事業について、各事業主体より事業成果等を発表いたします。

### 2 日時・場所等

- (1) 日 時：平成 25 年 8 月 1 日(木) 13:30 ～ 翌 2 日(金) 12:30
- (2) 場 所：ホテル日航東京(東京都港区台場 1 丁目 9 番 1 号) 「ペガサス」
- (3) 出席者：全国の森林組合・都道府県森林組合連合会の経営層、  
森林再生基金助成事業関係者、および森林専門家等

### 3 主なプログラム

1 日(木) 14:00 基調講演

(講 師) 遠藤 日雄氏(鹿児島大学農学部教授)

(テーマ)「最近の急速な木材事情の変化と森林組合の役割」

15:50 第 7 回森林再生基金助成事業発表会(事業内容詳細は別紙)

北都留森林組合、中濃森林組合、可茂森林組合、龍神村森林組合

2 日(金) 8:50 (続き)

しまね東部森林組合、愛媛県森林組合連合会、久万広域森林組合、  
香美森林組合

11:00 特別講演

(講 師) 桜井 博志氏(旭酒造株式会社代表取締役)

(テーマ)「ピンチはチャンス」～“獺祭”の闘いと軌跡～

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 広報企画室 野田・内田

TEL 03-5222-2017

## 第7回森林再生基金助成事業の内容

| 助成対象先                                          | 事業の概要と評価のポイント                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| きたつる<br>北都留森林組合<br>(山梨県)<br><br>対象地面積 50ha     | <p><b>事業名：</b> 北都留森林組合森林・林業・山村再生プラン～<sup>なりわい</sup>生業としての林業への挑戦～</p> <p>当地域は、東京都へ流れる多摩川の源流域で水源の森であるものの、林道密度が低く、搬出に不利な急傾斜地、崩れやすい地質であることなどから、森林整備が放棄されている。</p> <p>当事業では、これまでの切捨て主体の間伐から脱却するため、当地域の地形、地質等に応じた路網開設、高性能林業機械による低コスト作業システムを構築するとともに、そのコスト等のデータを蓄積・活用し、山村地域の基幹産業である林業が生業として成り立つことを目指すという取組みが評価された。</p> |
| ちゅうのう<br>中濃森林組合<br>(岐阜県)<br><br>対象地面積 66ha     | <p><b>事業名：</b> 多様性をもった里山森林整備モデル林の造成</p> <p>当地域は、人工林と天然林が混在する里山森林であるが、林道計画が財政難で頓挫して以来、利用間伐等の手入れが行われず、放置されており、荒廃した林分が広がる集落周辺ではイノシシ等による獣害が多発している。</p> <p>当事業では、境界を明確にしてゾーニングを行った上で、基幹作業道を開設し、地形等により車両系・架線系の作業システムを選択し、林況に応じた間伐施業を行うことにより、里山における多様な森林整備のモデル林づくりを目指すという取組みが評価された。</p>                               |
| かも<br>可茂森林組合<br>(岐阜県)<br><br>対象地面積 71ha        | <p><b>事業名：</b> 集落周辺の里山未整備森林再生プロジェクト</p> <p>当地域は、バブル期に土地開発計画が何度も浮上し、森林所有者の森林整備への関心が薄れ、その崩壊後は、放置されたままで、林分密度は高く、肥大成長が遅れている集落周辺にある里山未整備森林である。</p> <p>当事業では、森林境界の明確化、ゾーニングを行った上で、市町村森林管理協議会等と連携し、「100年の森づくり作業指針」を土台に、尾根筋作業道を開設し、地形等に応じた作業システムによる利用間伐のノウハウを蓄積し、所有者への還元が出来る仕組みづくりを目指すという取組みが評価された。</p>                |
| りゅうじんむら<br>龍神村森林組合<br>(和歌山県)<br><br>対象地面積 99ha | <p><b>事業名：</b> 新天地開拓モデル事業～<sup>はばた</sup>翔く「龍神材」谷を越える～</p> <p>当地域は、急峻な地形で、かつ橋梁の開設が必要であるが、現在の補助制度では作業道の開設が困難であることから、製材用材等として利用可能な林分に成長しているにもかかわらず、森林整備が遅れ荒廃が進んでいる。</p> <p>当事業では、低コストの橋梁を含む作業道を開設し、これを活用して地形等に適応した作業システムを確立し、その蓄積したノウハウを森林所有者に広く提案していくことで森林所有者の経営意欲を喚起し、荒廃する森林の再生、山村の活性化の契機としたいとする取組みが評価された。</p>  |

|                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>とうぶ<br/>しまね東部森林組合<br/>(島根県)</p> <p>対象地面積 85ha</p>     | <p><b>事業名： 水源林における集約化施業による利用間伐の推進</b></p> <p>当地域は、ラムサール条約登録湿地のある中海に注ぐ飯梨川の上流域にあり、水源林としての機能も期待されているが、林業経営意欲の減退等により、保育期、伐期を迎えているが、間伐もされずに森林の荒廃が進んでいる。</p> <p>当事業では、これまで利用間伐に必要なノウハウを十分に持っていないことから、高性能林業機械による利用間伐を本格的に実施し、地元大学の協力によりコスト・功程量分析、集約化施業の提案手法の確立等を行い、低コストの利用間伐システムの構築を目指すという取組みが評価された。</p>      |
| <p>えひめけん<br/>愛媛県森林組合連合会<br/>(愛媛県)</p> <p>対象地面積 150ha</p> | <p><b>事業名： 地域連携で取り組む「風早<sup>かざはや</sup>の森」再生事業</b></p> <p>当地域は、所有構造が零細であることから、利用間伐を推進していくには林地の集約化が望ましいものの、森林組合の解散後、当該地域を継承した新たな森林組合への加入が実現しておらず、集約化施業の実施が困難な状況にある。</p> <p>当事業では、森林組合に代わって、連合会が行政、森林林業活性化センター等と連携し、低コストの路網開設、利用間伐等を実践することで、組合指導に活かせる経験やノウハウを蓄積することにより、地域森林管理体制の構築を目指すという取組みが評価された。</p>   |
| <p>くまこういき<br/>久万広域森林組合<br/>(愛媛県)</p> <p>対象地面積 152ha</p>  | <p><b>事業名： 利用間伐への転換のための木材生産検証事業</b></p> <p>当地域は、従来、自伐林家により林業経営が営まれてきた林業地であったが、最近では管理放棄された森林が増加し、森林組合が集約化施業を進めているものの、手入れ不足林分の切捨てから利用への転換が課題となっている。</p> <p>当事業では、この手入れ不足林分で、林況別に利用間伐のコスト・功程量の分析を行い、採算ラインを検証し、施業プランナーが個別林分の類型化を行う際の判断基準を作ること、従来の切捨て間伐林分を利用間伐林分に転換することにより、集約化施業の一層の推進を目指すという取組みが評価された。</p> |
| <p>かみ<br/>香美森林組合<br/>(高知県)</p> <p>対象地面積 180ha</p>        | <p><b>事業名： 地域森林資源の管理者を目指して～限界集落の守り香美～</b></p> <p>当地域は、所有者の不在村化が進む限界集落の周辺林で、人工林率は80%にも及ぶ。急傾斜地で施業を行う者もなく、森林の荒廃は進み、所有者に代わって森林組合による早急な境界の明確化、集約化、森林整備が求められている。</p> <p>当事業では、数少ない在村者と協力して、森林境界の明確化を行った上で、急傾斜地での路網配置、タワーヤードによる中距離集材システムを検証・確立し、その成果を地域内・外に波及させることで、集約化施業の推進、豊かな森づくりを目指すという取組みが評価された。</p>     |

(計8事業)

以 上